

船橋市地域リハ研究会が

「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」の一員に！

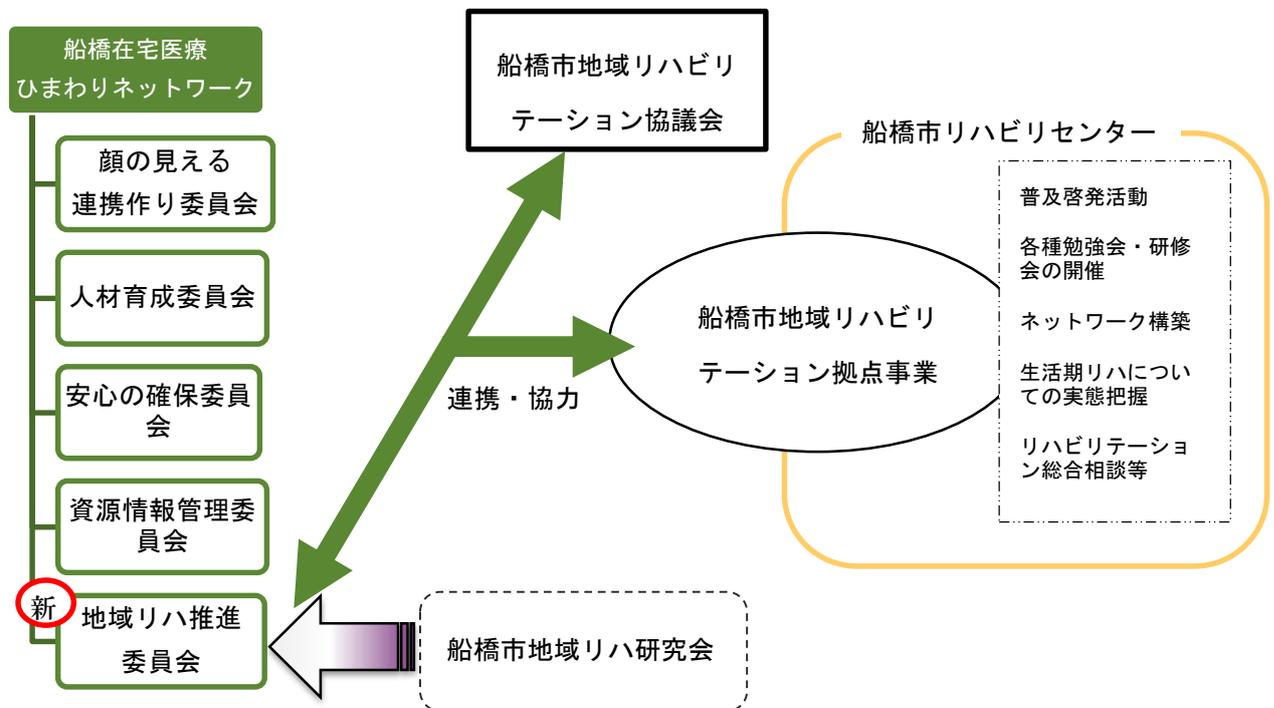
船橋市では、平成 22 年より、「船橋市地域リハ研究会」が「船橋市地域リハビリテーション協議会」の活動を補完し、船橋市における地域リハビリテーション^{※1}の発展に寄与すべく、勉強会・研修会の開催等を行ってまいりました。

平成 26 年度より船橋市リハビリセンターが地域リハビリテーションの推進拠点と位置づけられ、地域リハビリテーション拠点事業を行っていくこととなり、リハビリテーションについての普及啓発活動、各種勉強会・研修会の開催、ネットワーク構築、生活期リハについての実態把握、リハビリテーション総合相談等を行っています。

一方、船橋市においては、在宅医療の充実と医療・介護の連携を推進するため、「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」が平成 25 年度より活動を開始し、市全体での地域包括ケアシステム^{※2}の構築に向けたネットワークシステムが整って参りました。

このため、平成 28 年度より、「船橋市地域リハ研究会」は「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」の委員会のひとつ「地域リハ推進委員会」として、市内外の情勢を踏まえ、リハビリテーションに関する懸案事項を審議するとともに、地域リハ支援事業に協力していくこととなりました。

船橋市リハビリセンターは「地域リハ推進委員会」と密接な連携をはかり、充実した地域リハビリテーション拠点事業を展開していきます。



※1 障害のある人々や高齢者およびその家族が住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、一生安全に、いきいきとした生活を送れるよう、医療や保健、福祉及び生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合っ
て行う活動のすべて。（日本リハビリテーション病院・施設協会）

※2 団塊の世代 75 歳以上となる 2025 年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムのこと。（厚生労働省）

＜ 地域リハ拠点事業から～研修会の報告～＞

第 19 回船橋市地域リハビリテーション地区勉強会（北部）

平成 28 年 5 月 16 日（月）会場：二和公民館

「ALS 患者とその家族をどのように支援するか」をテーマに勉強会を行いました。まず、船橋総合病院 星野医師によるミニレクチャーで ALS（筋萎縮性側索硬化症）という疾患の理解を深めた後に、多職種による事例検討を行いました。発表では、自己決定の重要さが報告され、さらに、三咲在宅介護支援センター介護支援専門員森田氏のミニレクチャーにて支援する際の留意点や社会資源について理解を深めました。142 名が参加し、アンケートからは、「ALS の理解が深まった」「今後、担当した時に、今回のグループワークでの話が活かそう」といった感想をいただきました。



第 45 回 介護職員向け勉強会

平成 28 年 5 月 23 日（月）会場：船橋市立リハビリテーション病院

「利用者さんに深くかかわるために」というテーマで、船橋市立リハビリテーション病院 医長 田中貴志医師より高齢者の特性と留意すべき点について、分かりやすくお話いただきました。121 名が参加し、皆さま熱心にメモを取りながら耳を傾けていました。

アンケートからは、「現場で直ぐにでも活用できる内容でした。リアルな恐さはありませんでしたが、身につきました」といったご意見をいただきました。



【今後の予定】

第 6 回 市民公開講座

平成 28 年 6 月 25 日（土）10 時 00 分～

内容：これからのリハビリテーションの役割～より良い暮らしを支えるために～

会場：船橋市保健福祉センター

第 46 回 介護職員向け勉強会

（仮）「移乗（施設等勤務者向け）」

平成 28 年 6 月 29 日（水）18 時 30 分～ 会場：船橋市立リハビリテーション病院